

12.2 反プルサーマルの日

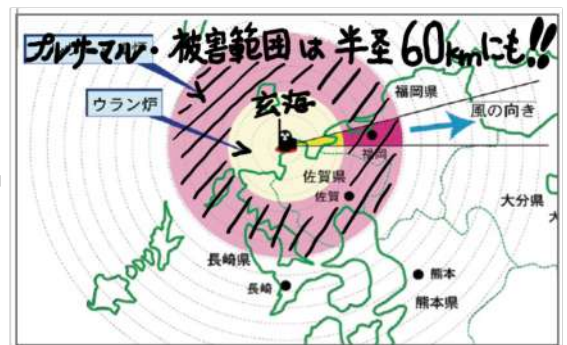


原発はいらない！ 私たちは、ただ暮らしを守りたいだけ。

2009年12月2日、九州電力は玄海原発3号機で日本初のプルサーマル運転を強行しました。通常のウラン燃料にプルトニウムを混ぜたMOX燃料を使うプルサーマルは危険極まりないものです。

当時の古川康・佐賀県知事と岸本英雄玄海町長は世界から危険を指摘されているにも関わらず運転を了解しました。3.11後の2017年、山口祥義知事は再稼働に「やむを得ない」と同意し、現在稼働中です。2020年11月には猛毒の使用済みMOX燃料が初めて原子炉から取り出されましたが、搬出先も決まらず使用済燃料プールに保管されてます。

私たちは理解も納得もできないと、毎年この日に玄海町でのポスティングなどプルサーマル反対・原発反対の行動を続けてきました。今年もこの日に原発の問題点をお知らせしたいとチラシを戸別配布しています。



！ 玄海原発プルサーマルが何故、危険なのか。

「玄海3号機でMOX燃料を使用した場合、それ自体が実験と見なされなければならない。そして、それは、玄海3号機の事故によって影響を受ける恐れのある佐賀県民および近隣の県民が、日本政府によってモルモットのように扱われていることを意味する。」(2006年3月3日エドウィン・S・ライマン博士(憂慮する科学者同盟(UCS)))

🚩 **プルサーマル運転とは**、使用済みの核燃料から再処理によって取り出したプルトニウムとウランを混合した燃料(MOX燃料)を再び原発の軽水炉で使用することです。しかし**灯油ストーブにガソリンを混ぜて燃やすような非常に危険な発電方法**です。

🚩 **では、何故そんな危険なMOX燃料を使って原発を運転するのでしょうか？**

2005年、国の核燃料サイクル政策が「使用済み燃料は再処理し、取り出したプルトニウム、ウラン等を有効利用する」と決めました。結果として日本は*注45.8トン(2021年末)のプルトニウムを保有しています。プルトニウムは長崎原爆の材料となったもので核不拡散の観点から「**利用目的のない人工猛毒プルトニウムは持ってはならない**」決まりです。

🚩 しかし、核燃料サイクルの中核施設とされた「高速増殖炉もんじゅ」は未完成のまま頓挫し廃炉へ、プルサーマルの拠り所とする「六ヶ所再処理工場」は着工より30年経過しても未完成状態が続いています。

*注2021年末内閣府が原子力委員会に報告した数量

このようにMOXプルサーマル運転は一理もなく百害のみの政策です。その「危険と隣合わせの生活」を私たちは日々強いられています。

❗ 原発は「放射能被ばく」が問題です。

⚡ 原発は**日常的に放射性物質を空に海に放出**します。人間だけでなく、動物、植物をも汚染し、生物の根源であるDNAを傷つけます。

⚡ 原発から海に捨てられる「トリチウム」の量は玄海原発が日本一です！空にも放出しています。

⚡ 原発を動かすにはウラン燃料が必要で**ウラン産出国の地域住民や、採掘労働者、運転に係る原発労働者が被ばく**します。

⚡ 事故が起これば放射性物質がまき散らされます。住めなくなる地域もでてきます。



人は放射能を無害に出来る力は持っていません。これ以上増やさない事が今できることです。

❗ 原発で事故が起こった！ 家やふるさとを捨てて逃げられますか？

⚡ 玄海原発の原子炉は、**電源喪失すると22分でメルトダウン**するのです。その時間内に逃げることができますか？

⚡ 今の避難計画は、「**被ばくしながら逃げる**」ことになっています。



?? 本当にすぐ知らせが来るの？放射能がやってきているのをどうやって分かるの？放射能の風だったら、どう防げばいいの？どれだけ被ばくしたか、教えてくれるの？ちゃんと逃げることが出来るの？いつ家に帰れるの??

⚡ **原発事故は突然起きます。原発事故は人災です。**

⚡ なぜ九州電力という一企業の利益のために、私たちがふるさとから逃げなければならないのか？

福島原発事故が教えてくれたことは、「もう原発を動かしてはならない」という事。

❗ 原発を動かせば、 「核のごみ=死の灰」がどんどん増える！！

⚡ 原発を動かせば、猛毒の使用済み核燃料が必ず出てきます。搬出先と言っている六ヶ所村の使用済み**核燃料プールはすでに満杯(98.9%)**。**再処理工場は26回も「開業延期」**。未だ完成していません。国の進める“核燃料サイクル”は破綻。最終処分場所も方法も決まっていません。10万年管理が必要です。

「六ヶ所再処理工場」は完成の見込みが立たないために「核のごみ」は、玄海原発の敷地内に**半永久的に置かれること**になります。

⚡ 玄海原発の使用済み核燃料プールの貯蔵率は89%（東京新聞2023年3月）にもなり、2~3年で満杯状態。増える使用済み燃料のために、プールの容量増し（リラッキング）と乾式貯蔵建設が進行中。

⚡ 使用済み核燃料プールの「リラッキング」は、燃料をぎゅうぎゅう詰めにして貯蔵量を2倍にする危険極まりないもの。

⚡ 「乾式貯蔵施設」は異常があっても蓋を開け点検・修理が出来ません。

使用済み燃料は熱を出し続けるので冷やし続けなければいけません。加えて使用済み

⚡ MOX燃料は発熱量が高く、危険性が高まります。

普通の企業なら、廃棄物の処理方法、場所を確保してから製造するのが常識。

ごみの管理が10万年！場所も未定！

なのに、まだ増やそうとしています！



❗ 玄海原発は本当に「事故」を起こさない？

⚡ **火災**：玄海原発敷地内で2019年12月変電所火災、続けて2020年9月仮設電源盤付近で火災発生。度重なり県も視察し対策徹底を指示。しかし2021年8月原子炉補助建屋に焦げ跡が見つかり、11月16日には再び特重施設の工事現場で火災発生。「**総点検をして深掘りをしたつもりだったが、…**」と九電社長。私たち住民の生命・生活を守れる確信がないなら、**直ちに原発の運転を中止**するべきです。

⚡ **配管**：原発内の配管総延長は約150kmにも達します。2007年の2号機の余剰抽出系配管のひび割れは、1991年から発見されるまで**定期検査でも発見されず15年も放置**されていました。「全部の配管のチェックなど出来るわけがない」「最重要の配管で10年で25%の点検をしている」と九電。点検を終了するころには原子炉はすでに寿命となっている計算だ。

⚡ **検査体制**：原発の安全性は原子力規制委員会が検査、監視するという法律でしたが、2020年4月1日より事業者が自身の原発の運転管理の報告を行い、その報告に基づいて規制委員会が監視を行うという信用ならぬ検査体制に改悪されてしまいました。



2018年3月玄海3号機
再稼働7日後蒸気漏れ事故

九電に自身の原発の検査を委ねてしまって、安全性は保たれるのでしょうか？



所属不明航空機が22年間に113回

迷彩色ヘリや原子炉真上を旋回した航空機も確認される！

⚡ 2001年以降の22年間、**玄海原発の上空を所属不明の航空機が113回も飛行**しています。機体や物体が原子炉に落下したら、放射性物質が大量に放出されるような大事故につながりかねません。玄海3・4号機の原子炉はドーム構造で支柱もなく重いものを載せられないので、**ドーム上部の厚さは周囲の壁よりも薄い約1.1メートル**です。

⚡ 新規制基準の規定は原発上空は航空機が運航しないということが前提となっており、「**航空機落下による防護について設計上考慮する必要はない**」として、何ら特別な対策を取っていません。しかし、現実には危険な原発上空の飛行が繰り返されているにもかかわらず、私達との交渉の場で九電は「**飛行規制は国が運航者に対して行うものだから、当社としては注意喚起を行う立場にはない**」と回答しました。国も何ら具体的な対策を講じずに放置しています。

2022年06月15日
九州電力株式会社

施設付近上空の航空機飛行確認連絡票

施設付近上空の航空機飛行確認連絡票

発電所名	玄海原子力発電所	天候	晴れ
確認日時	令和4年6月15日(水)13時00分頃	確認場所	正門守衛所
確認者の位置(上図×印)		正門守衛所	
推定飛行経路(上図↑印)		正門守衛所から八田浦上空、3/4号機取水ビッド上空、1/2号機タービン建屋上空を飛行	

航空機の情報

- 航空機の種類
ヘリコプター
- 機数
1機
- 機体番号
確認できない
- その他
白色

1号と2号機

3号と4号機

原発は知らされていない事ばかり。知ったら理不尽なことばかり。どう考えても一刻も早く止めなければならないと思っています。



原子力規制委員会
山中伸介規制委員長

「原子力に
100%の安全は
ない!!」

初代委員長も「**基準の適合性は審査するが安全だとは言わない**」と公言。



「**決して安全じゃない原子力の電気**」

こんな危険な電気なのに、何故発電コストが高い原発で発電し続けるのでしょうか？
その上、原発稼働の前提には「**地域の日常の破壊**」が潜んでいます。

知りたいこと等
座談会しませんか？

玄海原発プルサーマルと全基を 佐賀市伊勢町2-14 090-6772-1137/080-5254-6866
みんなで止める裁判の会
saiban.jimukyoku@gmail.com
http://saga-genkai.jimdo.com/

